

技術講演会『地下空間の新たな利用－自動物流道路－』

開催日時：令和6年12月3日(火) 13:30～16:15

ZOOMウェビナーによるライブ開催（500名 申込み順受付）



詳しくはこちらから

《13時30分から菊川会長の挨拶、聴講に関する留意事項説明を行います。》

講演 1 13:35～14:20 (45分)

自動物流道路の未来

講師：羽藤 英二 氏
 東京大学大学院工学系研究科
 社会基盤学専攻教授

【講演概要】道路を取り巻く今後の環境変化を整理した上で、自動物流道路のニーズについてネットワーク的な観点から技術的な課題を整理し、バッファリング機能や、代替となる交通モードを含めた物流道路交通のマーケットデザインの関係について述べることで自動物流道路の未来を展望する。

【講師紹介】博士(工学)
 ・専門は都市工学、社会基盤計画
 ・日産自動車総合研究所研究員、愛媛大学工学部環境建設工学科助教、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻准教授などを経て、2012年9月から現職
 ・国土交通省自動物流道路に関する検討会等に携わる

講演 2 14:20～14:50 (30分)

自動物流道路の構築に向けて～持続可能で、賢く、安全な、全く新しいカーボンニュートラル型物流革新プラットフォーム～

講師：遠藤 由梨 氏
 国土交通省道路局道路経済調査室企画専門官

【講演概要】国土交通省では、「高規格道路ネットワークのあり方中間とりまとめ」の提言を受け、物流危機やカーボンニュートラルなどへの対応のため、新たな物流形態として自動物流道路の実現に向けた検討を進めている。本講演では、検討の背景や海外事例、物流・交通量、道路空間活用の論点、荷物の規格、施工・搬送・荷役自動化技術など自動物流道路の検討状況、7月に公表した自動物流道路のあり方中間とりまとめの概要、今後の議論の方向性などについて紹介する。

【講師紹介】2014年国土交通省入省
 ・港湾局総務課課長補佐、海上保安庁総務部政務課企画調整官、森昌文内閣総理大臣補佐官付秘書官等を経て、2024年7月より現職

講演 3 15:00～15:30 (30分)

過去の我が国の物流システムの検討と近年の海外の地下物流システム等

講師：池下 英典 氏
 (一財)国土技術研究センター
 道路政策グループ主任研究員

【講演概要】国土交通省道路局では、自動物流道路(オートフロー・ロード)の構築に向けた検討を進めており、海外での新しい物流システムの調査などを行っている。本講演では、過去に我が国で検討が行われた物流システムの検討内容を振り返った上で、スイスの地下物流システムやイギリスの物流システムの実用化の動きなど、近年の海外での検討内容を紹介する。

【講師紹介】博士(工学)
 ・2014年から国土技術研究センター勤務
 ・道路政策に関する業務に従事
 ・特に自動物流道路や道路ネットワークの検討などに携わり、道路交通に関する調査・研究に取り組む

講演 4 15:30～16:15 (45分)

地下空間を活用した自動物流道路構築に向けたトンネル建設技術

講師：中川 雅由 氏
 JTA都市トンネル小委員会委員
 鹿島建設(株)土木管理本部統括技師長

【講演概要】地下空間を活用した自動物流道路として内径φ6mの円形トンネルを想定し、都市間トンネルを迅速かつ安全に構築する建設技術について紹介する。都市部において自動物流道路用のトンネルを早期に構築するためのポイントを整理したうえで、建設技術の現況、および実現に向けて解決すべき課題と技術展開の可能性について考察する。

【講師紹介】技術士(建設)
 ・1985年に鹿島建設(株)入社 ・シールドトンネルの設計、技術開発、施工管理を担当し、現在に至る ・これまでφ10m～14m級の大断面泥水シールド、泥土圧シールドの現場に従事
 ・土木学会や日本トンネル技術協会などの委員を歴任

聴講方法

※ 12月10日(火)～26日(木)にオンデマンドでも配信

- ・聴講申込みは、本会ウェブサイトの申込みフォームからお願いします。
<https://www.japan-tunnel.org/node/3628>
- ・聴講のためのURLは、お申込み時にメールで連絡します。
- ・聴講者にはMicrosoft Forms を利用したアンケートを実施します。ご協力をお願いします。



申込みはこちらから